

株式会社 藤商事

2008年3月期 決算説明会資料

2008年5月

代表取締役社長 松元 邦夫



証券コード 6257



<http://www.fujimaruken.co.jp/>

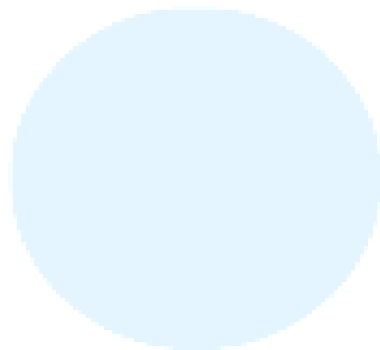
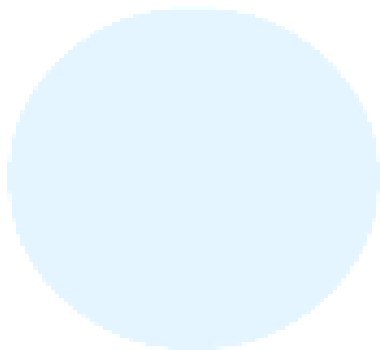
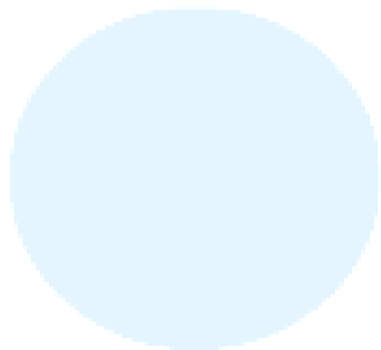
株式会社藤商事 決算説明会資料

1. 会社概要

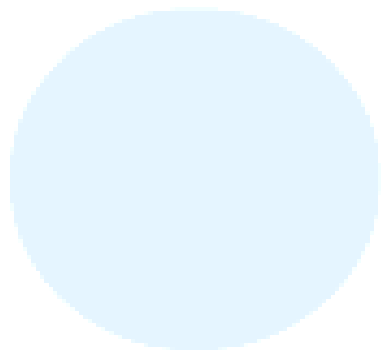
2. 2008年3月期 決算概要

3. 今後の市場見通しと当社の取り組み

4. 2009年3月期 業績計画



1. 会社概要



FUJI



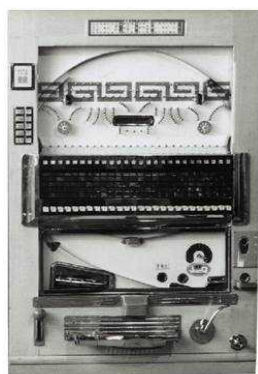
本社外観

社名	株式会社 藤商事
設立	1966(昭和41)年10月
代表者名	代表取締役社長 松元 邦夫
資本金	32億8千1百万円 (2008年3月31日現在)
売上高	404億7千9百万円 (2008年3月期)
従業員数	367名 (2008年3月31日現在)
事業内容	パチンコ遊技機、パチスロ遊技機の 開発・製造・販売

● 主な沿革

- 1966年10月 じゃん球遊技機の開発、製造および貸付を目的とし、株式会社藤商事を設立
- 1973年10月 アレンジボール遊技機の製造および販売を開始
- 1989年 1月 パチンコ遊技機事業に参入。パチンコ遊技機の製造および販売を開始
- 1992年 4月 アレンジボール遊技機 「アレジン」、「エキサイト」ヒット
- 2003年 9月 パチスロ遊技機事業に参入。パチスロ遊技機の生産および販売を開始
- 2003年11月 「CRサンダーバード2」パチスロ遊技機「サンダーバード3」発売
- 2004年 3月 「CR暴れん坊将軍」 発売
- 2006年10月 「CR暴れん坊将軍2」 発売
- 2007年 2月 ジャスダック証券取引所に上場（2007年11月 J-Stock銘柄に選定）
- 2007年11月 「CR宇宙戦艦ヤマト」 発売

当社遊技機の変遷



じゃん球遊技機



アレンジボール遊技機
エキサイト



パチンコ遊技機
CRサンダーバード2



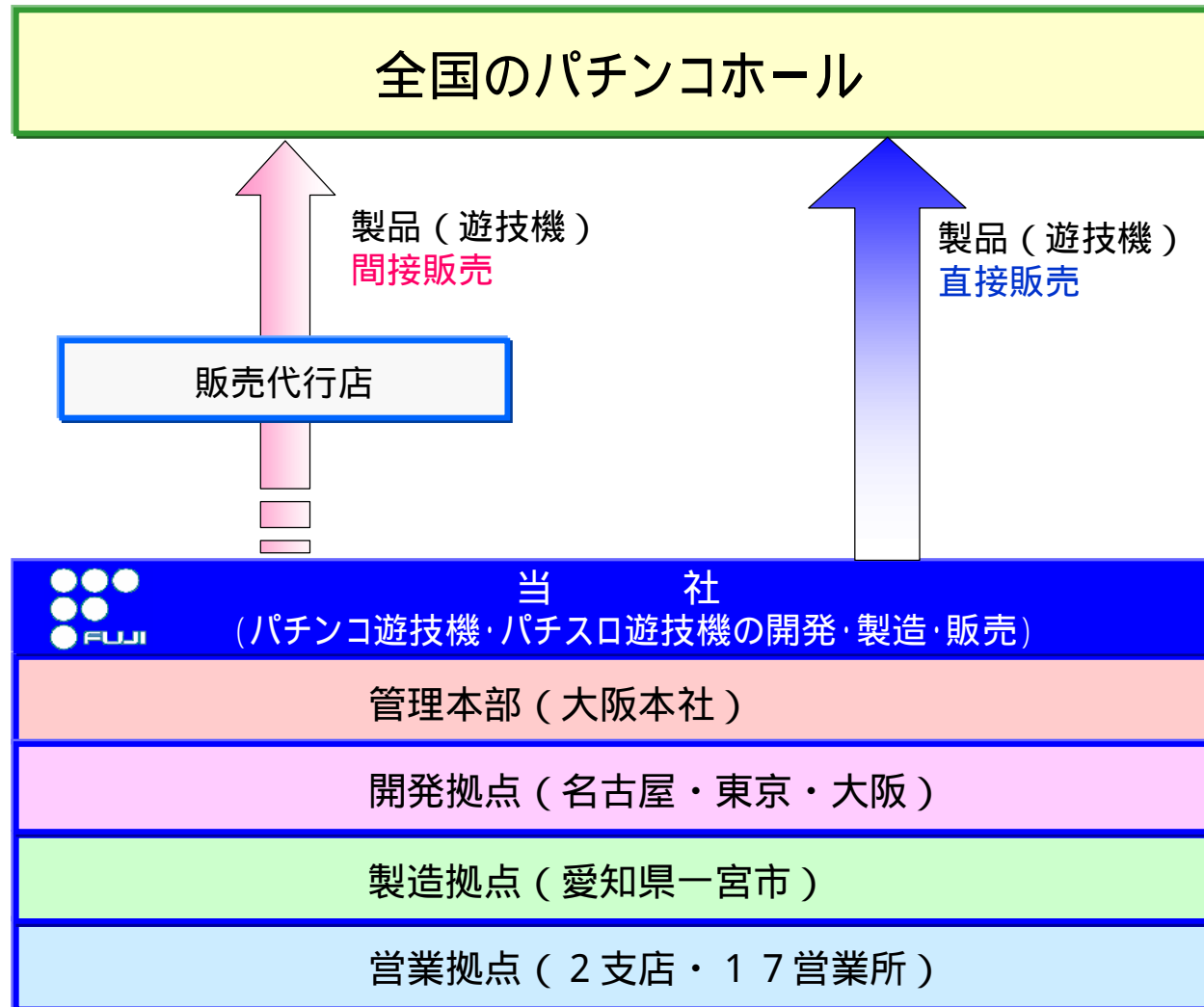
パチスロ遊技機
サンダーバード3



パチンコ遊技機
CR暴れん坊将軍2



パチンコ遊技機
CR宇宙戦艦ヤマト



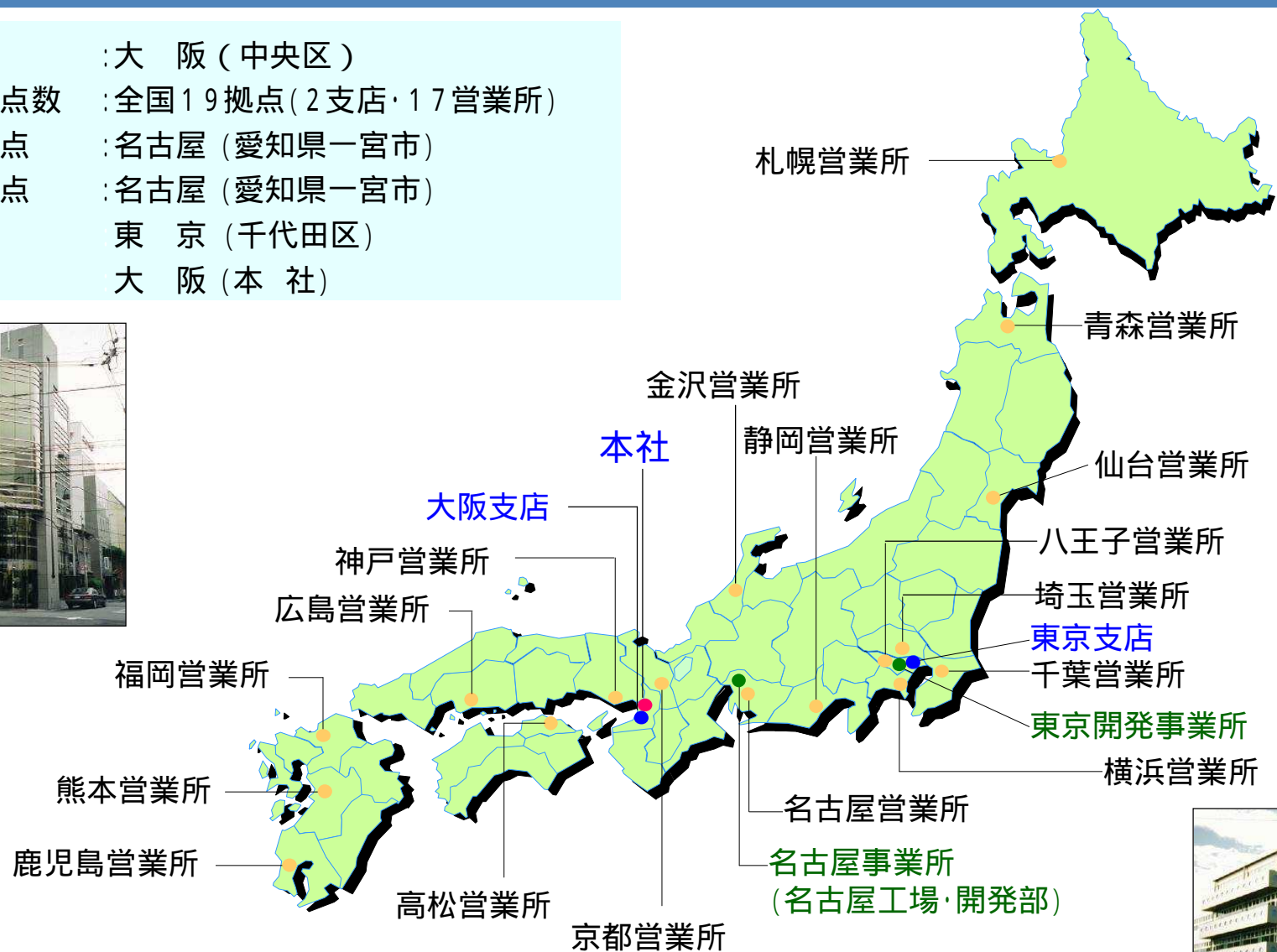
(株)JFJ(非連結子会社) (株)サンタエンタテイメント(持分法非適用関連会社)

地域展開の状況

本社 : 大 阪 (中央区)
営業拠点数 : 全国 19 拠点 (2 支店 ・ 17 営業所)
製造拠点 : 名古屋 (愛知県一宮市)
開発拠点 : 名古屋 (愛知県一宮市)
東 京 (千代田区)
大 阪 (本 社)



大阪支店



東京支店



名古屋事業所



2 . 2008年3月期 決算概要



FUJII



パチンコ遊技機（旧枠機種）



CR かつぱ伝説

Copyright©2007 FUJISHOJI CO.,LTD. All Right Reserved.



CR プロジェクトA

Movie Title - Project A. Copyright © 1993 STAR TV Filmed Entertainment Limited. All Rights Reserved.



CR 島倉千代子の千代姫七変化

Copyright ©2004,2007 Chiyoko Shimakura All Right Reserved.



CR ジュマンジ

©2007 Sony Pictures Consumer Products Inc. Jumanji, the film:©1995 TriStar Pictures, Inc. All rights reserved.

パチンコ遊技機（新枠機種）



CR 宇宙戦艦ヤマト

©東北新社



CR エイリアンVSプレデター

Alien vs. Predator TM & © 2007 Twentieth Century Fox Film Corporation. All Rights Reserved. Produced Under License by Cross Media International, LLC



CR 千昌夫～北国の春～

©千昌夫

パチスロ遊技機



パチスロ ブルース・リー

BRUCE LEE and the Bruce Lee likenesses are trademarks and copyrights of Concord Moon LP. Licensed by Universal Studios Licensing LLLP. All Rights Reserved. Photo:©1975 Linda Lee Cadwell. All Rights Reserved.



マークの付いているパチンコ遊技機は、手軽に安く遊べるタイプを含みます

ヒト味違う発想で一步先の“オモシロさ”を目指して！



決算ハイライト

販売台数 前期対当期比較



販売台数は千台未満切捨て

販売台数	2007年3月期		2008年3月期		
		構成比		構成比	対前期比増減
パチンコ遊技機	180千台	98.3%	146千台	99.1%	34千台
パチスロ遊技機	3千台	1.7%	1千台	0.9%	2千台
計	183千台	100.0%	147千台	100.0%	36千台

	2007年3月期		2008年3月期	
	機種名	販売台数	機種名	販売台数
パチンコ 遊技機	C R 暴れん坊将軍 2	48千台	C R 宇宙戦艦ヤマト	84千台
	C R マツケンサンバ	38千台	C R かつぱ伝説	13千台
	C R 大江戸捜査網	28千台	C R プロジェクトA	12千台
	C R ゲゲゲの鬼太郎 3	16千台	C R 島倉千代子の千代姫七変化	12千台
	C R サンダーバード	15千台	C R エイリアンVSプレデター	10千台
	C R リング	15千台	C R 千昌夫～北国の春～	6千台
	C R ピンクパンサー	12千台	C R ジュマンジ	4千台
	その他機種	4千台	その他機種	1千台
	合計	180千台	合計	146千台
パチスロ 遊技機	サンダーバードネオXX	3千台	パチスロ ブルース・リー	1千台
	パチスロ 暴れん坊将軍			

前期対当期比較

単位：百万円、%

	2007年3月期		2008年3月期		構成比 増減	増減要因等
		構成比		構成比		
売上高	39,404	100.0	40,479	100.0	- - -	<p>売上高 下半期における販売単価の高い本体枠販売比率の上昇 (CR宇宙戦艦ヤマト)</p> <p>売上総利益 上半期の販売不振および材料廃棄損等の計上</p> <p>下半期の新枠投入による本体枠比率の上昇</p> <p>特別損失 旧生産ラインの除却損等</p>
売上原価	20,832	52.9	25,436	62.8	+ 9.9 P	
売上総利益	18,572	47.1	15,043	37.2	9.9 P	
販管費	11,500	29.2	11,531	28.5	0.7 P	
営業利益	7,071	17.9	3,511	8.7	9.2 P	
営業外収益	136	0.3	136	0.3	- - -	
営業外費用	60	0.1	57	0.1	- - -	
経常利益	7,148	18.1	3,591	8.9	9.2 P	
特別利益	94	0.2	34	0.1	0.1 P	
特別損失	102	0.2	303	0.8	+ 0.6 P	
税引前当期純利益	7,140	18.1	3,321	8.2	9.9 P	
税金費用	2,837	7.2	1,263	3.1	4.1 P	
当期純利益	4,302	10.9	2,058	5.1	5.8 P	

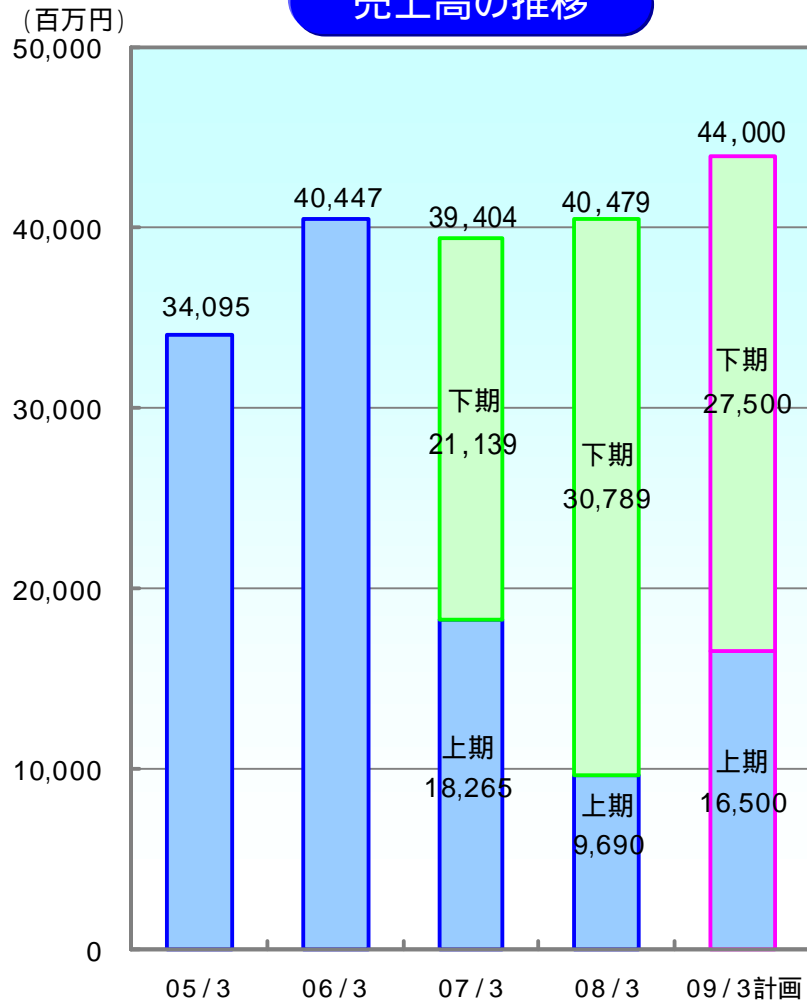
前期対当期比較

単位：百万円、%

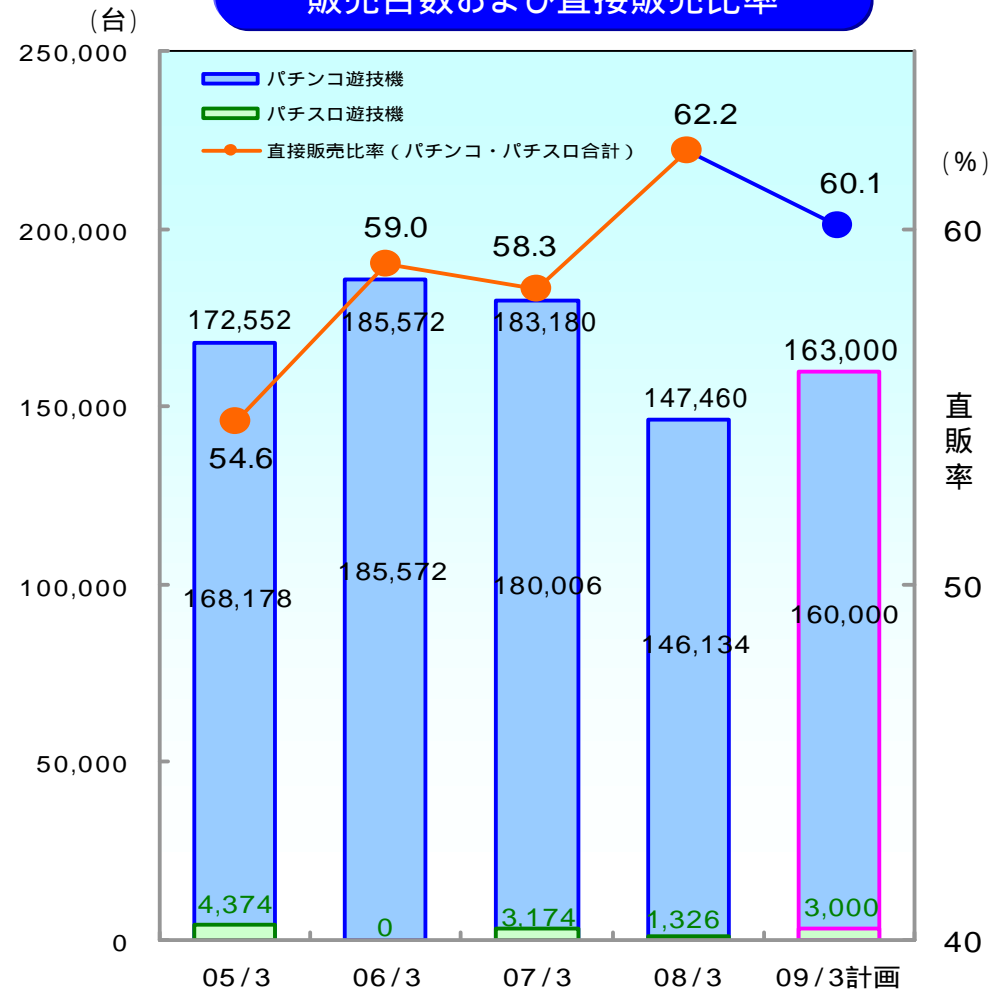
	2007年3月期		2008年3月期		金額増減	増減要因等
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	32,087	72.0	35,611	71.1	+ 3,524	有形固定資産 生産ライン新設 1,423百万円 金型取得 1,128百万円 減価償却費 1,832百万円 (税制改正の影響 224百万円含む) 投資その他の資産 長期前払費用 著作権料の増減額 約1,000百万円 等
現金及び預金 有価証券	22,850	51.3	22,404	44.7	446	
売上債権	6,331	14.2	8,864	17.7	+ 2,533	
固定資産	12,484	28.0	14,466	28.9	+ 1,982	
有形固定資産	9,239	20.7	10,016	20.0	+ 777	
投資その他の資産	3,002	6.7	4,222	8.4	+ 1,220	
資産合計	44,571	100.0	50,078	100.0	+ 5,507	
流動負債	6,035	13.5	10,811	21.6	+ 4,776	
仕入債務	3,451	7.7	9,226	18.4	+ 5,775	
固定負債	1,063	2.4	1,283	2.6	+ 220	
負債合計	7,099	15.9	12,094	24.2	+ 4,995	
純資産合計	37,472	84.1	37,984	75.8	+ 512	



売上高の推移



販売台数および直接販売比率



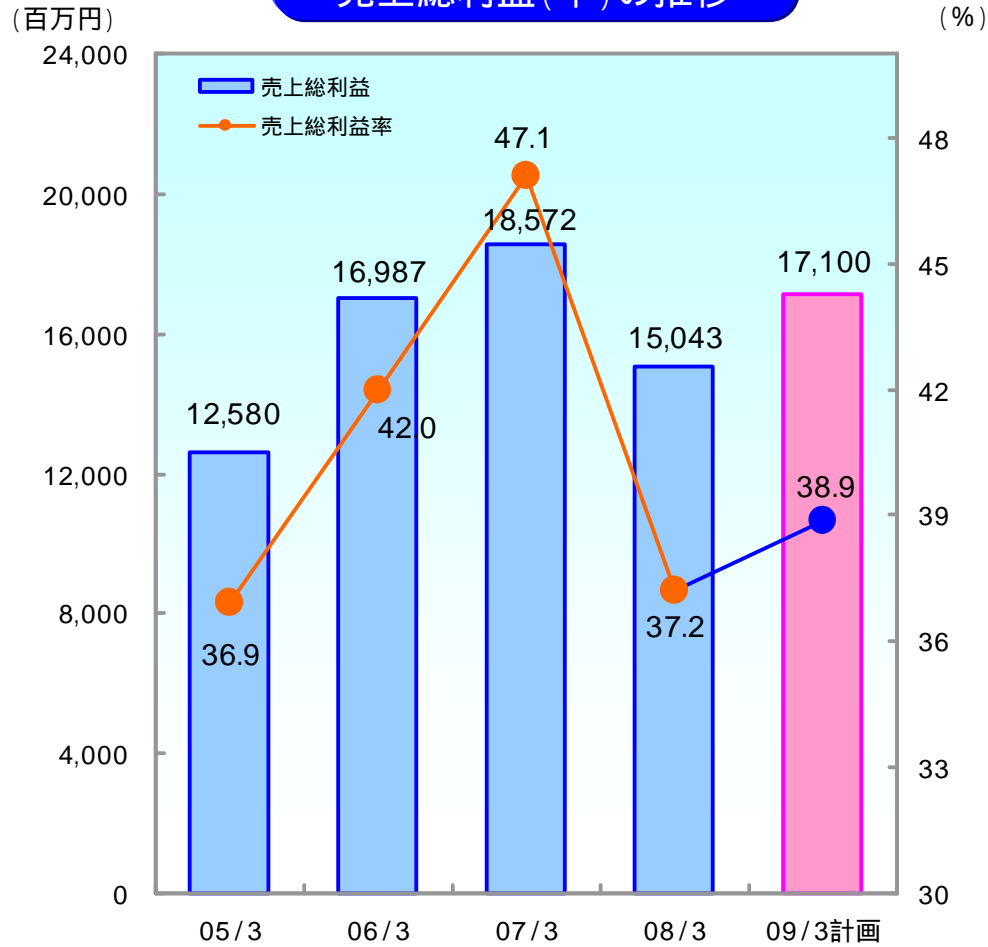
パチンコ遊技機 発売機種数	5	6	8	7	7
パチスロ遊技機 発売機種数	1	0	2	1	2
営業拠点数	17	18	19	19	19



業績推移 (売上総利益・販管費)

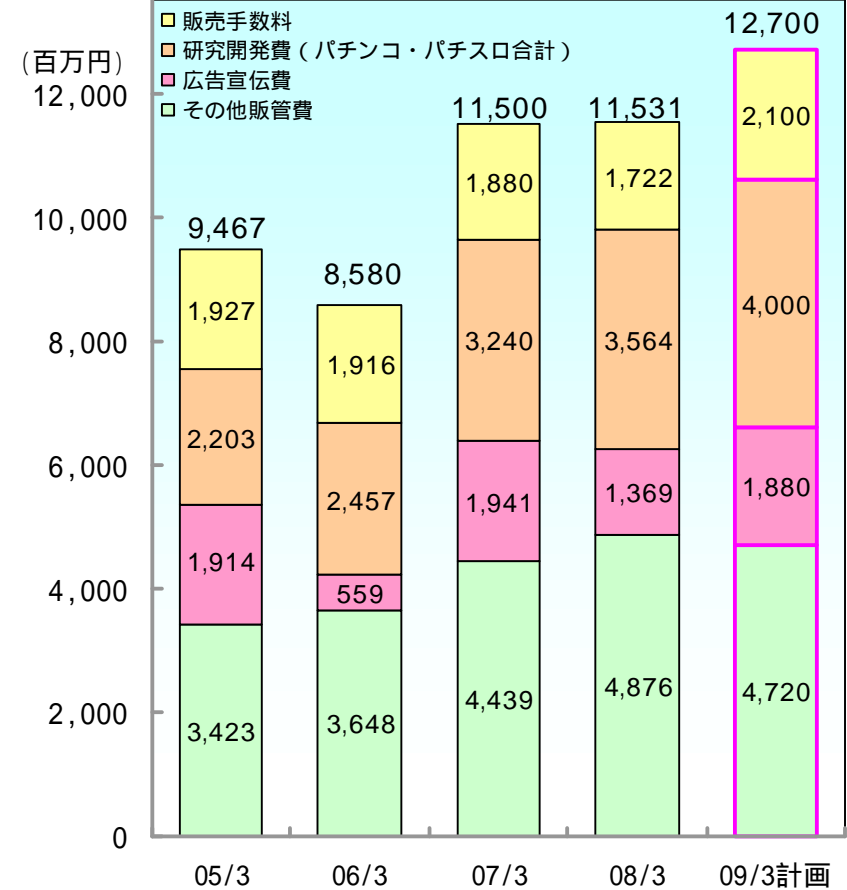


売上総利益(率)の推移



全社人員	292名	312名	358名	367名	382名
営業人員	149名	159名	186名	184名	187名
開発人員	74名	85名	102名	114名	128名

販管費(率) 主要経費の推移



販管比率	27.8%	21.2%	29.2%	28.5%	28.9%
手数料率	5.7%	4.7%	4.8%	4.3%	4.8%
広告宣伝費率	5.6%	1.4%	4.9%	3.4%	4.3%
開発費率	6.5%	6.1%	8.2%	8.8%	9.1%

各比率は、売上高に対する比率

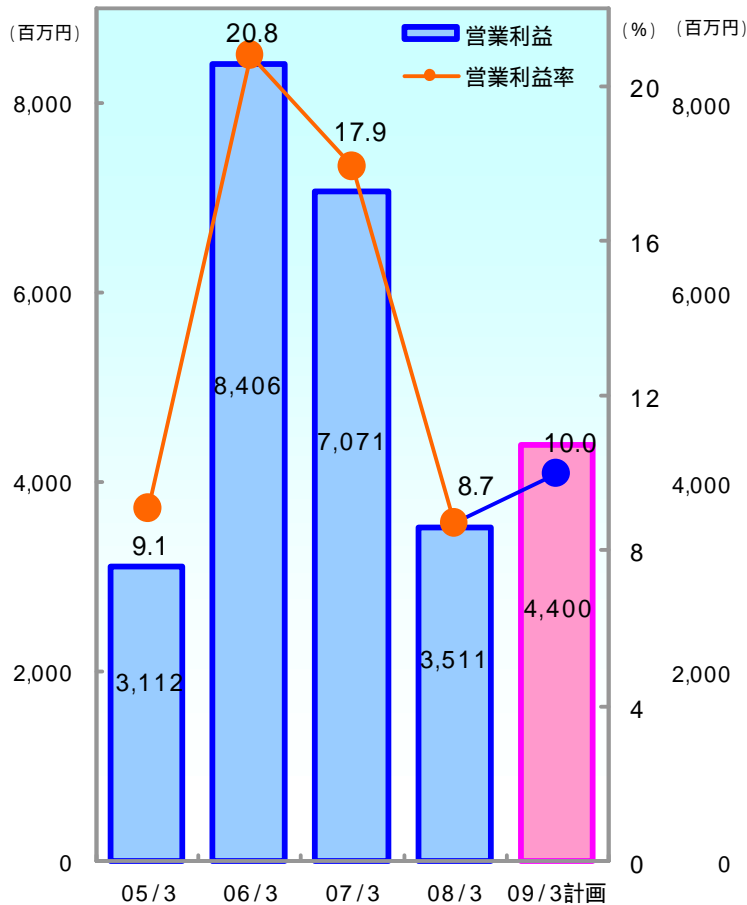


業績推移

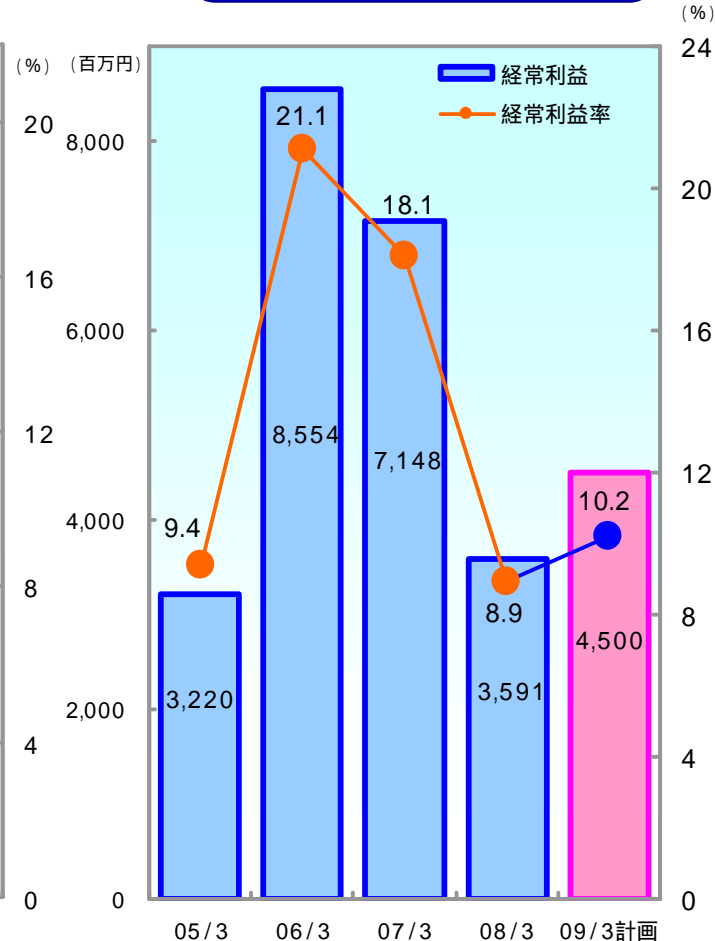
(営業損益・経常損益・純損益)



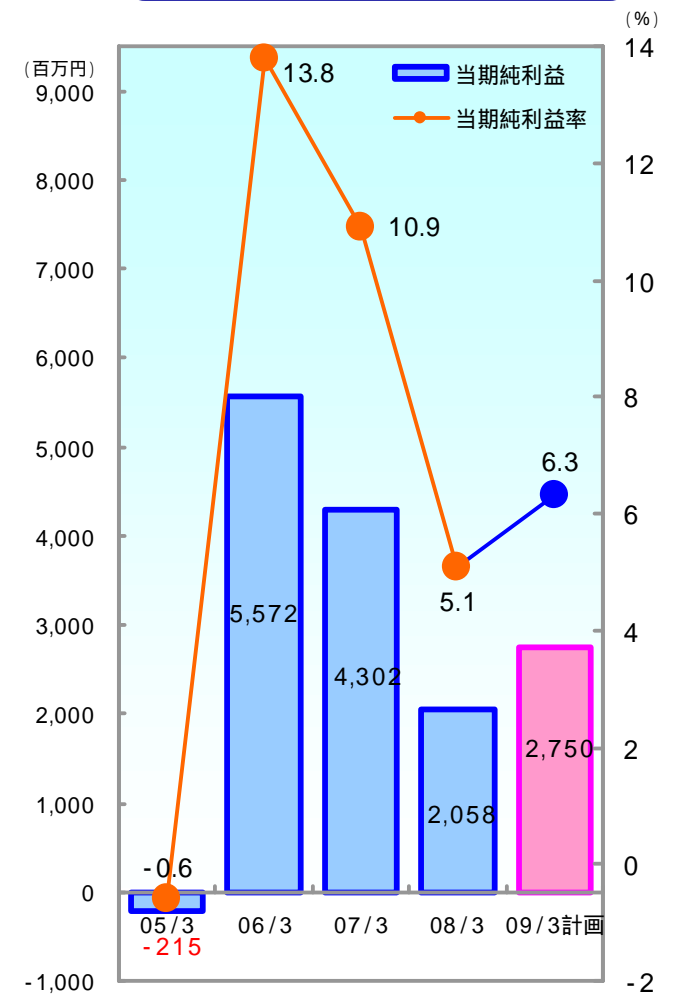
営業利益(率)の推移



経常利益(率)の推移



当期純利益(率)の推移





3. 今後の市場見通しと当社の取り組み

パチンコ・パチスロ市場の推移



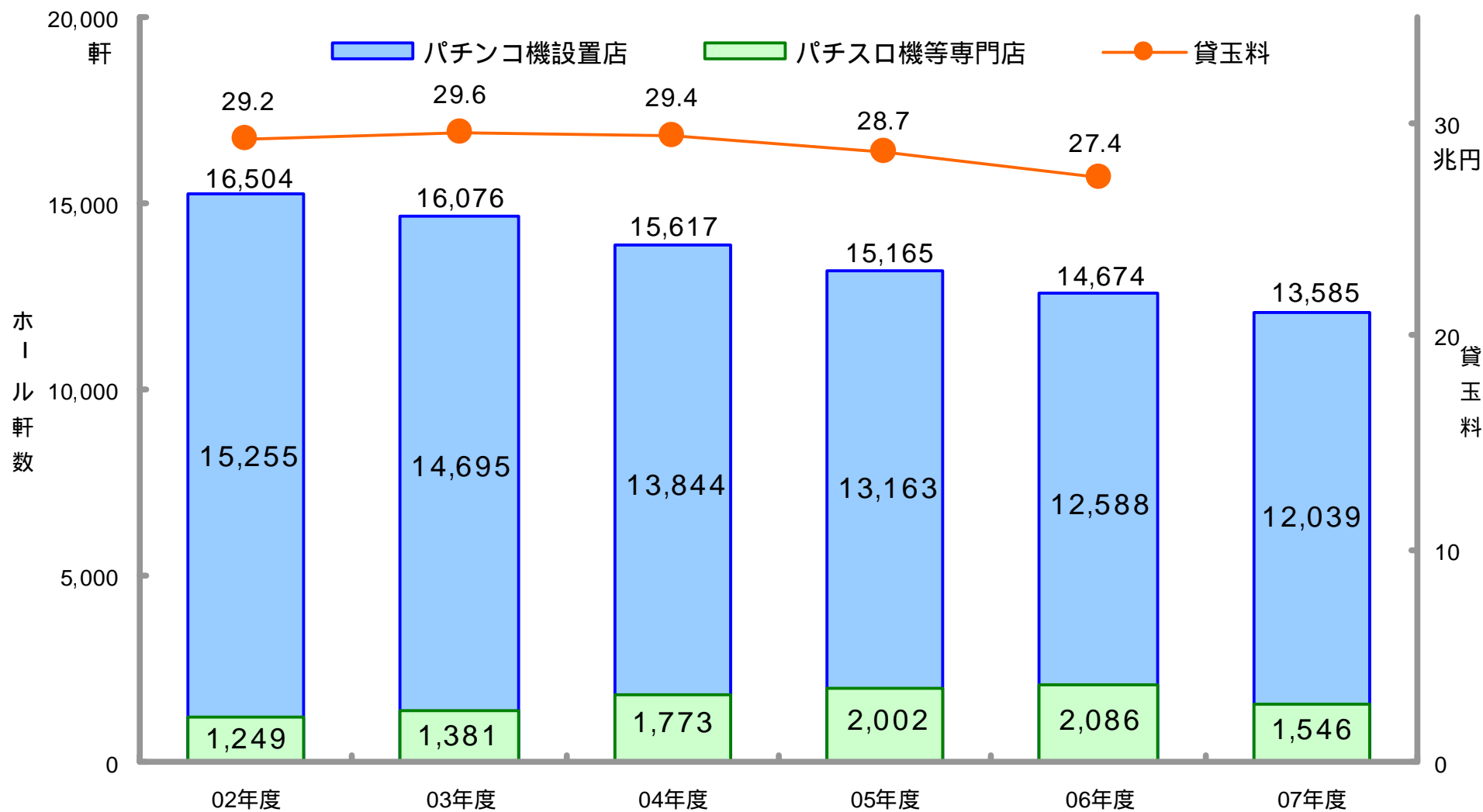
(注) 2007年度 販売台数は当社推定値。「---」は08年5月時点で未発表

項 目		02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
参加人口 (万人)		2,170	1,740	1,790	1,710	1,660	---
貸玉料 (兆円)		29.2	29.6	29.4	28.7	27.4	---
ホール軒数 (軒)	パチンコ機 設置店	15,255	14,695	13,844	13,163	12,588	12,039
	パチスロ機等 専門店	1,249	1,381	1,773	2,002	2,086	1,546
	合 計	16,504	16,076	15,617	15,165	14,674	13,585
設置台数 (千台)	パチンコ (アレンジ含む)	3,258	3,231	3,082	2,963	2,934	2,955
	パチスロ	1,606	1,661	1,887	1,936	2,003	1,636
販売台数 (千台)	パチンコ	3,174	3,687	4,013	4,047	3,831	3,400
	パチスロ	1,502	1,842	1,672	1,786	1,648	1,750

出所：警察庁（ホール軒数・設置台数）・社会経済生産性本部『レジャー白書』（参加人口・貸玉料）・矢野経済研究所『パチンコ関連メーカーの動向とマーケットシェア』（販売台数）

パチンコホール軒数・貸玉料の推移

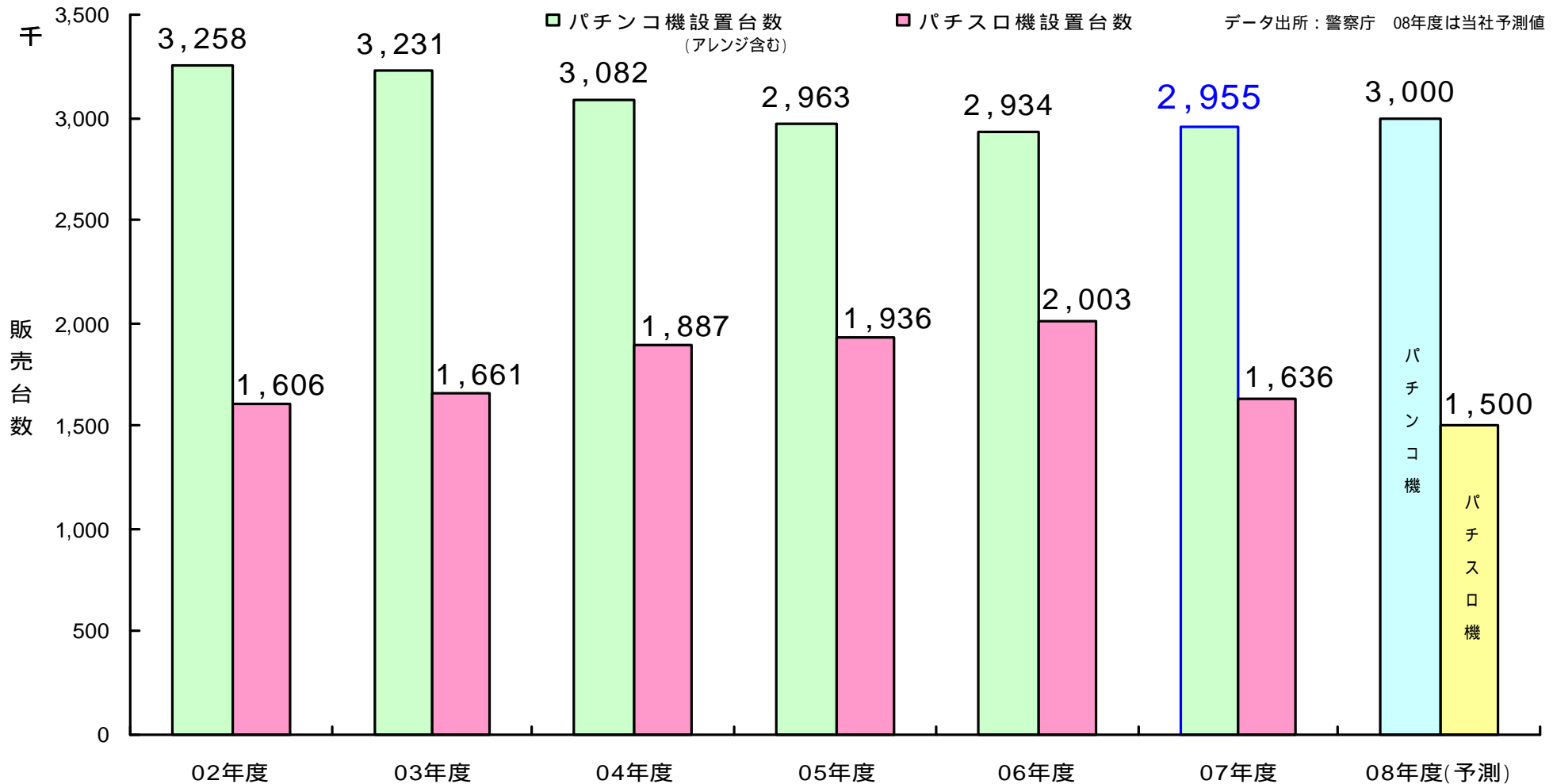
パチンコホール軒数・貸玉料の推移 (2002年～2007年)



出所：警察庁（ホール軒数）・社会経済生産性本部『レジャー白書』（貸玉料）
07年度の貸玉料は、08年5月時点で未公表

遊技機市場の推移 (設置台数)

パチンコ遊技機・パチスロ遊技機 ホール設置台数の推移 (2002年～2008年)

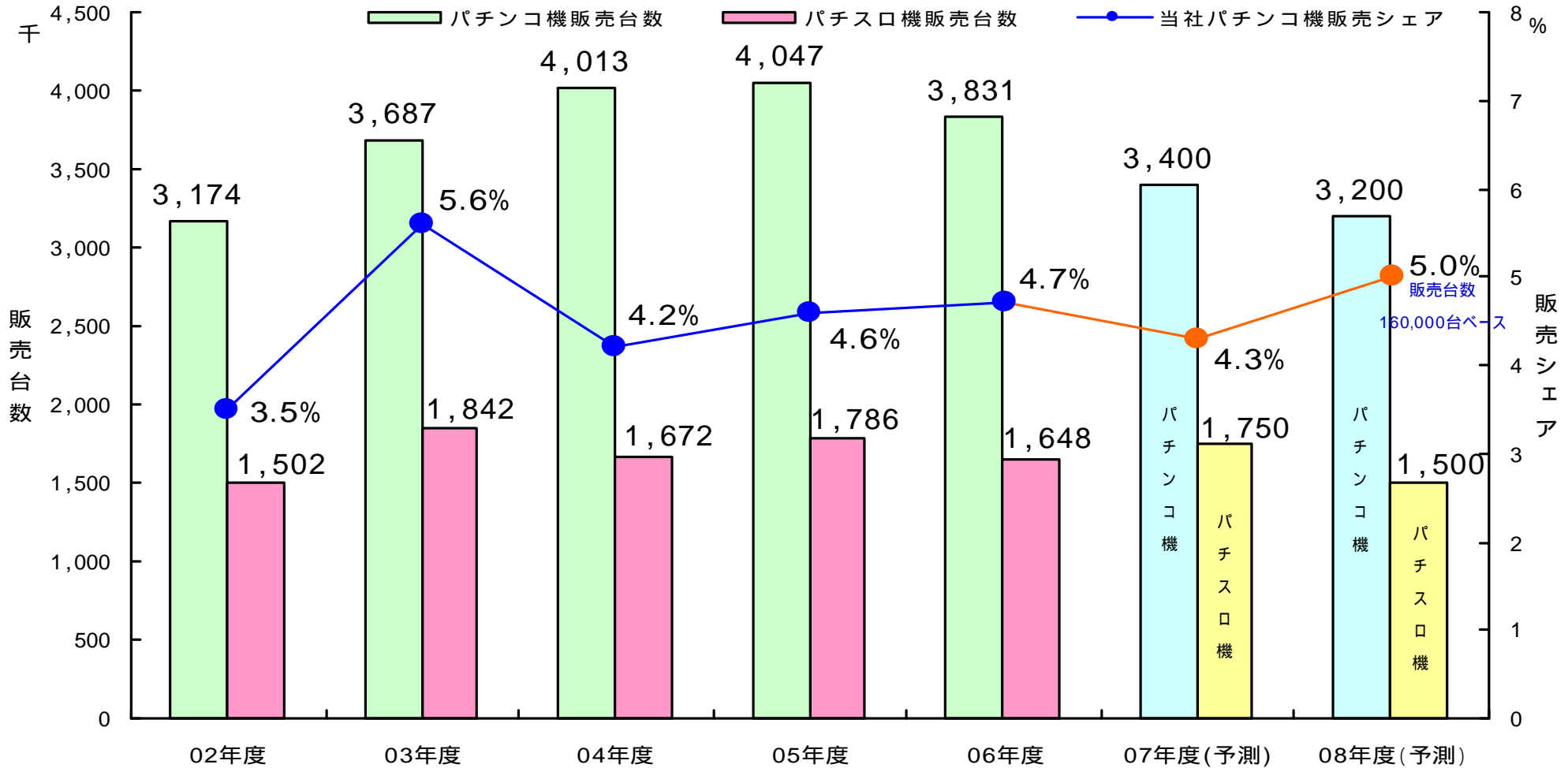


パチンコ遊技機 2007年末ホール設置台数 約295万台 **11年ぶり前年比増加**

パチスロ遊技機 専門店の減少とともに、併設店の設置台数の減少が継続 警察庁データ

遊技機市場の推移 (販売台数)

パチンコ遊技機・パチスロ遊技機 市場販売台数と当社販売シェア (2002年～2008年)

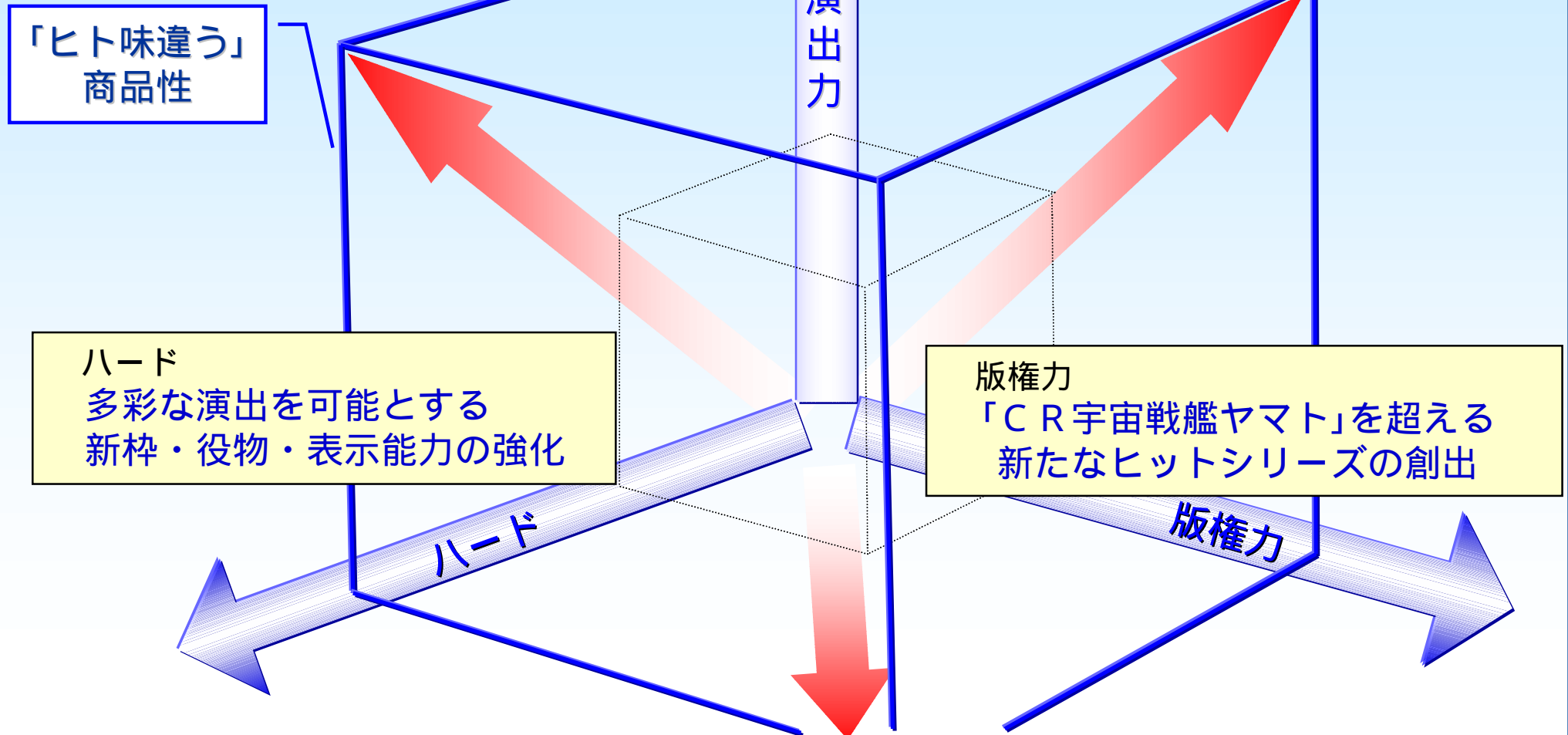


2008年度 当社予測

パチンコ遊技機 総販売台数320万台 当社販売シェア5% (販売台数16万台ベース)
 パチスロ遊技機 5号機の入替需要の一巡により、販売台数は減少

データ出所：矢野経済研究所 07年度・08年度は当社予測値

継続的な3要素の見直しにより、
商品性の向上を図る
(イメージ図)





『ヒト味違う』商品性のさらなる追求

「面白い、楽しい、何度打っても飽きない」魅力

『ヒト味違う』 版権力・独創性・新規性・遊技性・・・etc

「CR宇宙戦艦ヤマト」を超える商品性の追求

パチンコファン、ホールの皆様の声を反映した開発強化

昨年新設した企画部が本格始動

幅広く、様々な角度からマーケット・ニーズを吸収し、
スピーディーに商品開発へフィードバック



(A) 販売計画の着実な達成

当社 19 拠点の販売網

商戦ごとに競合機種の情報分析を強化

スペック、ゲーム性に関するセールスポイントの強化

(B) 利益率の向上

商品性向上、製造コスト低減の両立（設計・製造工程の改善）

受注台数の予測精度向上による廃棄ロス低減

(C) 瞬発力ある部材調達・生産体制の構築

部材調達のリードタイムを短縮化

ホール様にタイムリーに商品提供できる体制づくりを推進



パチスロ市場の動向

5号機全体の稼働停滞により、設置台数・販売台数の減少が続く
パチンコ機同様、高稼働をキープできる商品力が求められる

『技術上の規格解釈基準の一部改正』（08年3月）による、
演出面の自由度向上に期待

当社の施策

外部開発協力会社との連携強化

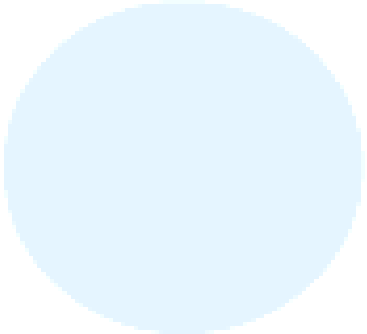
5号機のヒット機種開発において実績ある開発協力会社と連携

多面的な商品力チェック体制の導入によるクオリティの向上

ゲーム性・スペック等に関する複数の評価プロセスを実施、開発に反映



4 . 2009年3月期 業績計画



FUJI

2009年3月期 販売台数計画

『ヒト味違う』商品力ある遊技機の投入

パチンコ遊技機 160,000台

北海道洞爺湖サミット開催による入替自粛(5月下旬～7月中旬)に伴い、
下半期に比重を置いた販売計画

5月投入機種『CR鞍馬天狗』完売

上半期・下半期にそれぞれ、大型版權機種を投入予定

『CR宇宙戦艦ヤマト』のヒットによる、ホール設置シェア拡大を
活かした販売戦略 パネル販売比率の上昇・利益率の向上

パチスロ遊技機 3,000台

新規開発協力会社との連携強化による商品性向上

型式試験の適合状況を踏まえ、保守的に計画を策定

2009年3月期 上半期計画

項 目	2008年3月期 上半期実績		2009年3月期 上半期計画		対前年同期比増減(率)	
	販売台数・投入機種数	5機種	45千台	3機種	60千台	2機種
パチンコ遊技機 本体比率	4機種	44千台 24.6%	3機種	60千台 35.0%	1機種	+ 16千台 + 10.4 P
パチスロ遊技機	1機種	1千台	- 機種	- 千台	1機種	1千台
売 上 高 (百万円)	9,690	100.0%	16,500	100.0%	+ 6,810	+ 70.3%
営 業 利 益 (百万円)	968	10.0%	440	2.7%	+ 1,408	---
経 常 利 益 (百万円)	905	9.3%	480	2.9%	+ 1,385	---
純 利 益 (百万円)	719	7.4%	300	1.8%	+ 1,019	---
1株当たり中間配当金	普通配当 1,750円		普通配当 2,000円		+ 250円	

2009年3月期 下半期計画

項 目	2008年3月期 下半期実績		2009年3月期 下半期計画		対前年同期比増減(率)	
	販売台数・投入機種数	3機種	102千台	6機種	103千台	+ 3機種
パチンコ遊技機 本体比率	3機種	102千台 99.4%	4機種	100千台 30.0%	+ 1機種	2千台 69.4 P
パチスロ遊技機	-機種	-千台	2機種	3千台	+ 2機種	+ 3千台
売 上 高 (百万円)	30,789	100.0%	27,500	100.0%	3,289	10.7%
営 業 利 益 (百万円)	4,479	14.5%	3,960	14.4%	519	11.6%
経 常 利 益 (百万円)	4,496	14.6%	4,020	14.6%	476	10.6%
純 利 益 (百万円)	2,777	9.0%	2,450	8.9%	327	11.8%
1株当たり期末配当金	2,250円 (内、特別配当500円)		普通配当 2,000円		250円	

2009年3月期 通期計画

項 目	2008年3月期 通期実績		2009年3月期 通期計画		対前期比増減（率）	
	機種数	千台	機種数	千台	増減	増減率
販売台数・投入機種数	8機種	147千台	9機種	163千台	+ 1機種	+ 16千台
パチンコ遊技機 本体比率	7機種	146千台 76.8%	7機種	160千台 32.0%	- - -	+ 14千台 44.8 P
パチスロ遊技機	1機種	1千台	2機種	3千台	+ 1機種	+ 2千台
売 上 高 (百万円)	40,479	100.0%	44,000	100.0%	+ 3, 521	+ 8.7%
営 業 利 益 (百万円)	3,511	8.7%	4,400	10.0%	+ 889	+ 25.3%
経 常 利 益 (百万円)	3,591	8.9%	4,500	10.2%	+ 909	+ 25.3%
当期純利益 (百万円)	2,058	5.1%	2,750	6.3%	+ 692	+ 33.6%
1株当たり当期純利益	8,073円		10,786円		+ 2,713円	
1株当たり配当金	4,000円 (内、特別配当500円)		普通配当 4,000円		特別配当500円を普通配当に変更	
配当性向	49.5%		37.1%		12.4 P	

お問い合わせ先

株式会社 藤商事 経営企画室

TEL:06-6949-0323 FAX:06-6949-3174



本資料は、当社の事業内容等につきご説明するために、現時点で入手できる情報に基づき、当社が作成したものです。本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
本資料中の情報によって生じた障害・問題等に関しては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
今後の業績については、様々な要因によって計画数値と異なる結果となる可能性があります。投資を行う際には、投資家ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。